

法人の理念

聖書のに基づき、神さまから愛されている者として喜びと感謝の気持ちを持ち、自律的に生き抜く人間の育成に努める

1. 神と人を愛し隣人と共に平和を築く
2. 自然に親しみ、身体を鍛え、与えられたいのちを大切に
3. 知恵と創造力を育み、一人一人に与えられた賜物を生かす



＜年主題＞ ともに
＜年主題聖句＞ わたしはあなたとともにいる
園だより

イザヤ書43：5

こひつじ 11月

2025年 11月 1日

＜月主題聖句＞ 神は愛です

ヨハネの手紙Ⅰ 4：16

11月主題

たんぽぽルーム（0歳児）《みーつけた》

- *保育者の祈りやさんびかを通して神さまを感じる。
- *興味関心が広がり、声を出して表現できるようになる。
- *たくさん自然物に触れたり味わったりする。

たんぽぽルーム・うさぎ組（1・2歳児）《じっくりと》

- *賛美や祈りを通して神さまを身近に感じる。
- *やりたいこと、興味あることにじっくり取り組み楽しむ。
- *自然の恵みに感謝し、遊びや生活に取り入れる。

ひつじ組（3歳児）《神さまありがとう》

- *庭の木々や周りの自然から秋の深まりを感じ、秋の収穫を神様に感謝する
- *友だちとイメージを共有し、絵本やお話の世界を楽しむ
- *自然物を見つけたり触れたりしながら、遊びの中に生かそうとする

きりん・らいおん組《気づく》

- *実りをくださった神さまに感謝し、州かっく物を共に分かち合い食する喜びを感じる。自然の変化から神さまのなさることの素晴らしさを体感する。
- *友だちと気持ちが通じあう経験も、折りあいをつける経験も重ねながら、友だちと関わって過ごすことをより楽しむようになる。
- *色づいた葉や木の実から季節の移り変わりによる自然の変化に気づく。そして、実際に見て触れ、製作やごっこ遊び等に生かす。

食育クイズ

Q. 細くて長いごぼうはどの部分を食べているのでしょうか？

- ① 根 ② 枝 ③ 茎

A. ① 根

ごぼうは土の中で育つ野菜で、食べているのは根っこ部分です。ほかに根を食べる野菜に大根、蕪、人参、さつまいもなどがあります。
ーこどもの栄養よりー

収穫感謝祭

今年も保育園の収穫感謝祭では、神さまからいただいた秋の実りを園児たちが持ち寄り、感謝の礼拝を捧げます。礼拝の後、こどもたちがその日の昼食を作ります。月末には園庭で焚火をして、焼き芋をつくります。

***おねがい**

野菜やくだもの、なんでも結構です。ご家庭に秋の実りがありましたら、前日か、当日の朝に保育園にお持ち寄りください。

おいもほり～みかん狩り

10月21日に、きりん・らいおん組と清教学園幼稚園のいちご組が手を繋いで古野の畑に行き、一緒においもほりをしました。保育園の畑のおいもほりも間近に予定しています。

また、ひつじ～らいおん組は泉ふれあい農の里でのみかん狩りを今月末に予定しています。お家からのお弁当持参になりますのでよろしくお祈りします。詳細は後日お知らせします。

★年末年始の保育について

12月29日（月）～1月3日（土）は休園となっています。

今年度はじめに保護者の皆様にはすでにお知らせしています。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

おたんじょうびおめでとう！



＜11月の予定＞

1	土		16	日	
2	日		17	月	
3	月	文化の日	18	火	
4	火	避難訓練	19	水	収穫感謝祭 / 防災設備点検
5	水	園児教会礼拝 / 長野小学校就学前健診	20	木	身体測定
6	木	体操（5歳児）	21	金	
7	金		22	土	
8	土		23	日	勤労感謝の日
9	日		24	月	振替休日
10	月		25	火	
11	火	秋のスポーツデー	26	水	みかん狩り（3～5歳児）
12	水	園児教会礼拝	27	木	やきいもパーティ / 体操（5歳児）
13	木		28	金	11月度定例職員会議
14	金	誕生日会	29	土	
15	土		30	日	

＜11月の歌＞

さんびか

♪うれしいあさよ
♪わたしたちの
たべるもの
♪はたけのおやさい

月の歌

♪まつぼっくり
♪もみじ
♪きのこ
♪まっかな秋

「クリスマス」

『降誕日』と呼ぶよりクリスマスが一般的です。古い英語でキリストのミサという意味です。「ミサ」は礼拝のことです。救い主イエス・キリストの誕生を喜び、礼拝をささげることでしょう。

福音書の降誕物語はイエスの誕生日を記してはいません。では、どうして12月25日なのでしょう。4世紀頃から、教会ではこの日をクリスマスとしてお祝いするようになったといわれます。当時のローマには、太陽を神として崇拝する宗教があり、ローマ暦の冬至には盛大なお祭りをしました。北半球で夜が一番長い時に、太陽神の誕生を祝い、明るい光を待望したのです。その日が12月25日でした。

教会はキリストこそが「真の太陽・真の光」として、この日をイエス・キリストの誕生日として祝うようになりました。やがて、アドヴェント（待降節）の期間も守られるようになり、クリスマス前の4週間を色々な準備をしながら、当日を迎えるようになりました。クリスマスツリーや「降誕場面の模型（クレッシュ、クライフ）」を飾って待ちます。

クリスマスは単なる「誕生祝い」ではありません。この出来事を通して示された神の大きな愛を信じ、イエス・キリストにより、神が私たちの只中で共にいてくださることを信じ受け入れることが大切です。こどもたちと共に、喜びと感謝をもってクリスマスを迎えたいものです。

キリスト教保育ハンドブック 教会暦 「クリスマス」より

聖愛保育園では今年は創立70周年記念の礼拝ということもあって、クリスマスの讃美歌の練習やページエントの準備がすでに始まっています。今年は0～5歳児の園児、保護者、職員全員の参加でクリスマスをお祝いいたしましょう！会場は市民交流センターキックスの4階ホールです。また、清教学園中堂のハンドベル部の演奏も予定しています。



11月を迎え朝夕が冷え込むようになり秋の深まりを感じます。園児たちが秋を楽しむ活動は11月、これから本番となります。

キッズカーニバルにはたくさんの保護者、そしてご家族の皆様が参加くださり、ありがとうございました。雨が少し心配な開会式でしたが、あとはすっかり晴れて、予定した演目をすべて行うことができ感謝です。

園ではキッズカーニバルに向けての日々の活動の中でこどもたちと保育者が一緒に丁寧に準備を重ねてきました。その成果である本番では、こどもたちひとり一人の頑張りと、お友だちと協力する姿、心身ともに成長した姿を感じていただけたのではないのでしょうか。そしてすべての園児と保護者、職員が神さまに守られ、“ともに”楽しい時間を過ごすこと



聖愛ファミリー

～神さまの愛につつまれ育つ、たくましく思いやりのある子～

社会福祉法人泉カナン会 聖愛保育園

〒586-0023 河内長野市野作町11-46 Tel.0721-52-2973 fax0721-52-2987

ホームページ <http://seiaihoikuen.com/>